

マタイ 42

主が私に期待 されていること

マタイ福音書17:1～13

イエスの山上での変容

アウトライン

0. イントロダクション

I. 山上での変容 17:1～6

II. メシアの先駆者エリヤ 17:7～13

III. まとめと適用

主が私に期待されていること





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

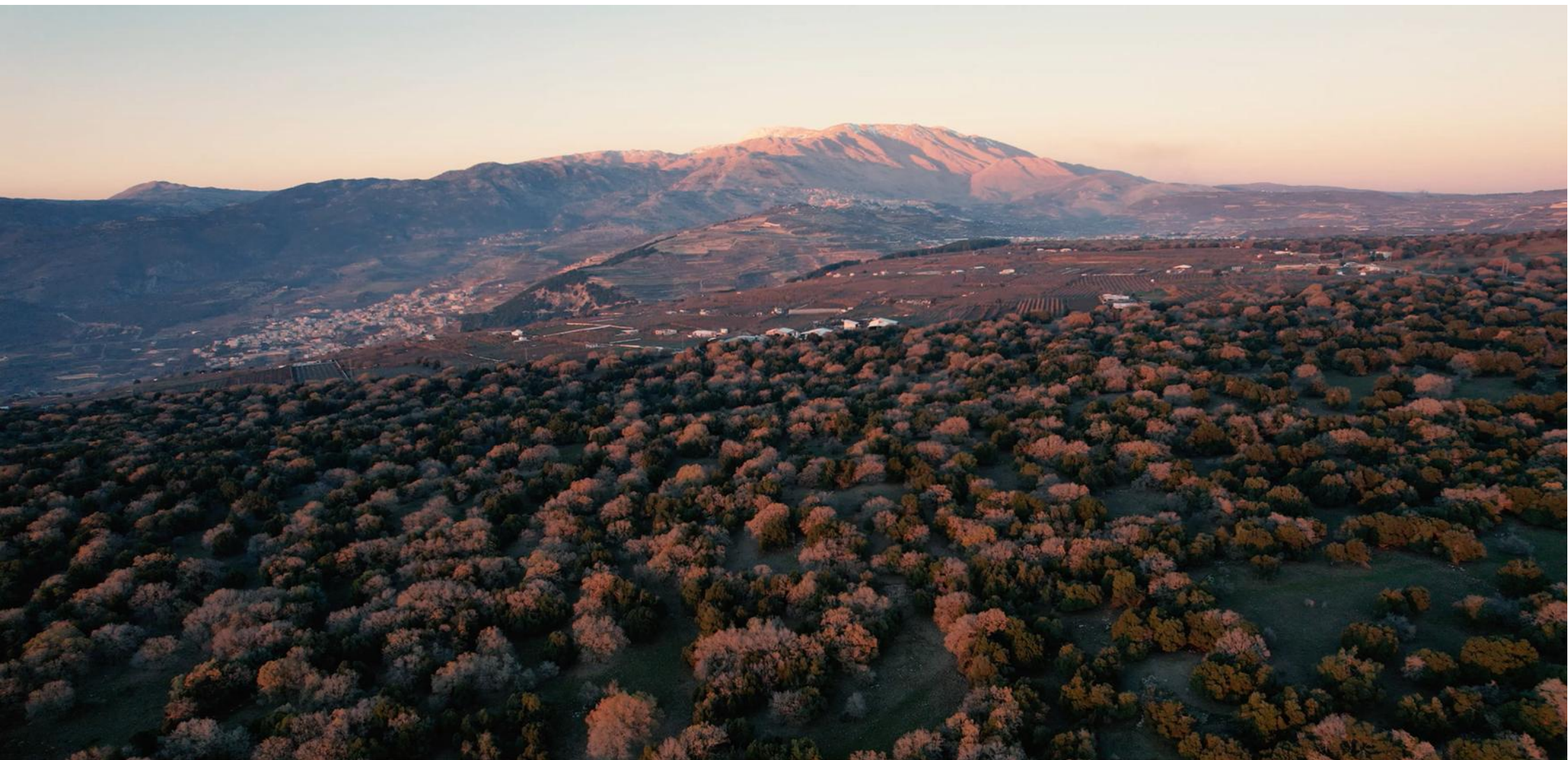
最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
 - ➡ 訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
 - ➡ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
 - ➡ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
 - ➡ **弟子訓練もいよいよ終盤に!!**



I. 山上での変容

マタイ福音書17:1～6

ヘルモン山

本編

山頂へ マタイ17:1

それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネ*だけを連れて、高い山*に登られた。

*ルカは八日目。ふもとまで、山頂までの違い?!

*12使徒の内の特に重要なリーダー3人

*ヘルモン山(2,814m)…イスラエル最高峰
パニアスから、ヘルモン山まで、約20km



本編

栄光の主イエス マタイ17:2

すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった*。

*シャカイナグローリー…神の栄光

栄光を放つ、主イエス本来の姿

「マルコ9:3 この世の職人には、とてもなし得ないほどの白さであった。」

公生涯では、ただ一度の出来事!!



本編 モーセとエリヤ マタイ17:3

そして、見よ、モーセ*とエリヤ*が彼らの前に現れて、イエスと語り合っていた。

＊律法を記す。死んで秘密裏に埋葬。

…死んだ信仰者の代表

＊預言者代表。生きたまま天に挙げられた。

…生きた信仰者の代表

■ 携拳(空中再臨)では、地上で生きている信者と、死んでパラダイスにいる信者が、共に復活し、主イエスのもとへ



本編

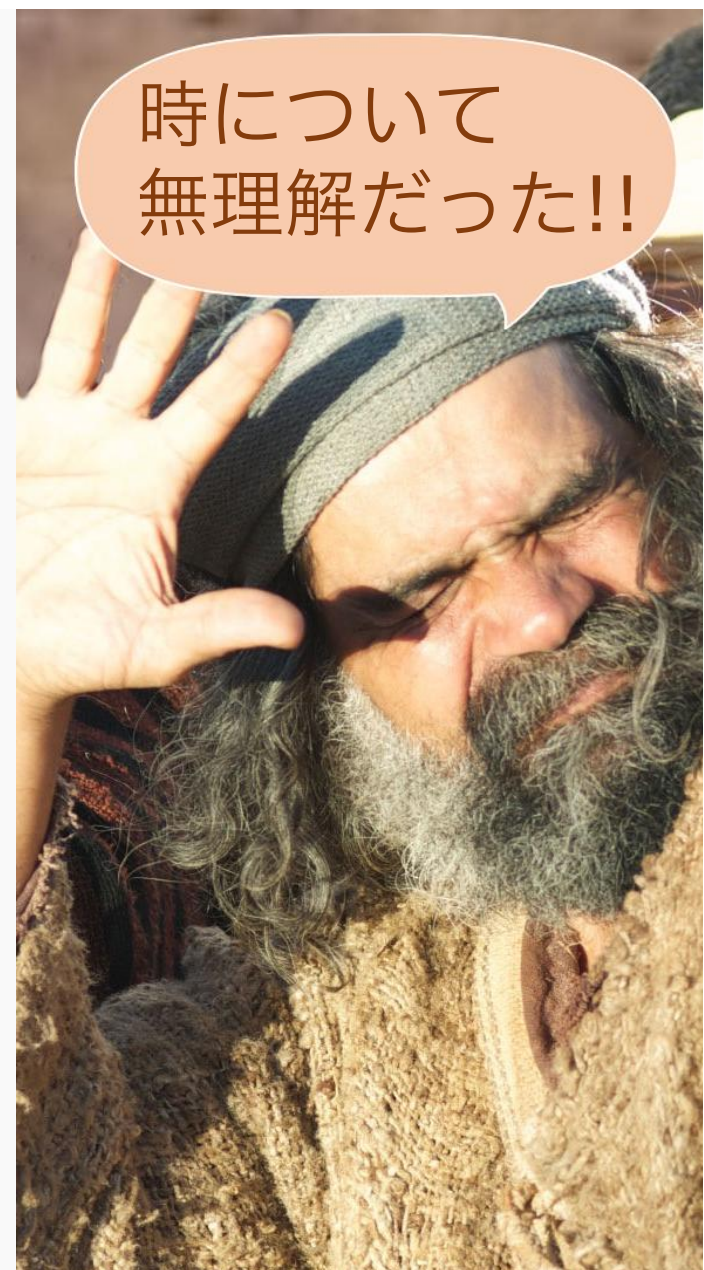
ペテロの提案 マタイ17:4

そこでペテロがイエスに言った。「主よ、私たちがここにいることはすばらしいことです。よろしければ、私がここに幕屋*を三つ造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

*オケナス(幕屋、仮小屋、仮庵)

オケノペギア(仮庵の祭り)…ヨハ7:2

■ 仮庵の祭りは、王なるメシアを迎える祭り。
栄光のイエスを、王なるメシアの来臨と理解
➡ 仮庵を建てて祝おうと!!



本編

神の呼びかけ マタイ17:5

彼がまだ話している間に、見よ、**光り輝く雲***が彼らをおおった。すると見よ、雲の中から「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け*」という声がした。

***父なる神の栄光(シャカイナグローリー)**

***バットコル…神の短い直接の呼びかけ**

例) イエスのバプテスマの時の神の声

「これはわたしの愛する子。

わたしはこれを喜ぶ。」



ヘルモン山

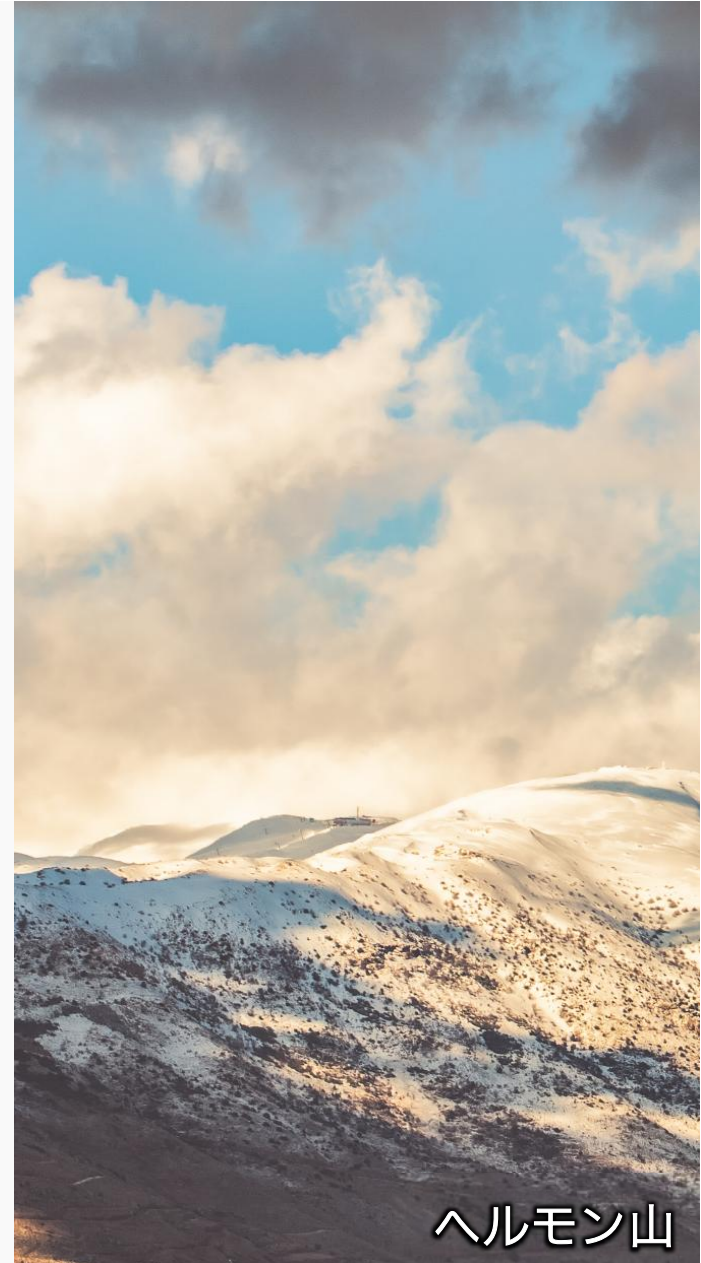
本編

消えた栄光 マタイ17:6～8

弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏した。そして非常に恐れた*。するとイエスが近づいて彼らに触れ、「起きなさい。恐れることはない」と言われた。彼らが目を上げると、イエス一人のほかには、だれも見えなかった。

*主の声を聞いて恐れなかった人はいない。

■栄光は消え、人としてのイエスの姿だけ。



ヘルモン山



Ⅱ. メシアの先駆者エリヤ

マタイ福音書17:7～13

ヘルモン山

本編

イエスの命令 マタイ17:9

彼らが山を下るとき、イエスは彼らに命じられた。「あなたがたが見たことを、だれにも話してはいけません。人の子が死人の中からよみがえるまでは。」

■主イエスの復活まで口止めされた。

➡実際には頭から消えていた!!

メシアの死後は悲しみに浸るだけ…



ヘルモン山

本編

エリヤ マタイ17:10

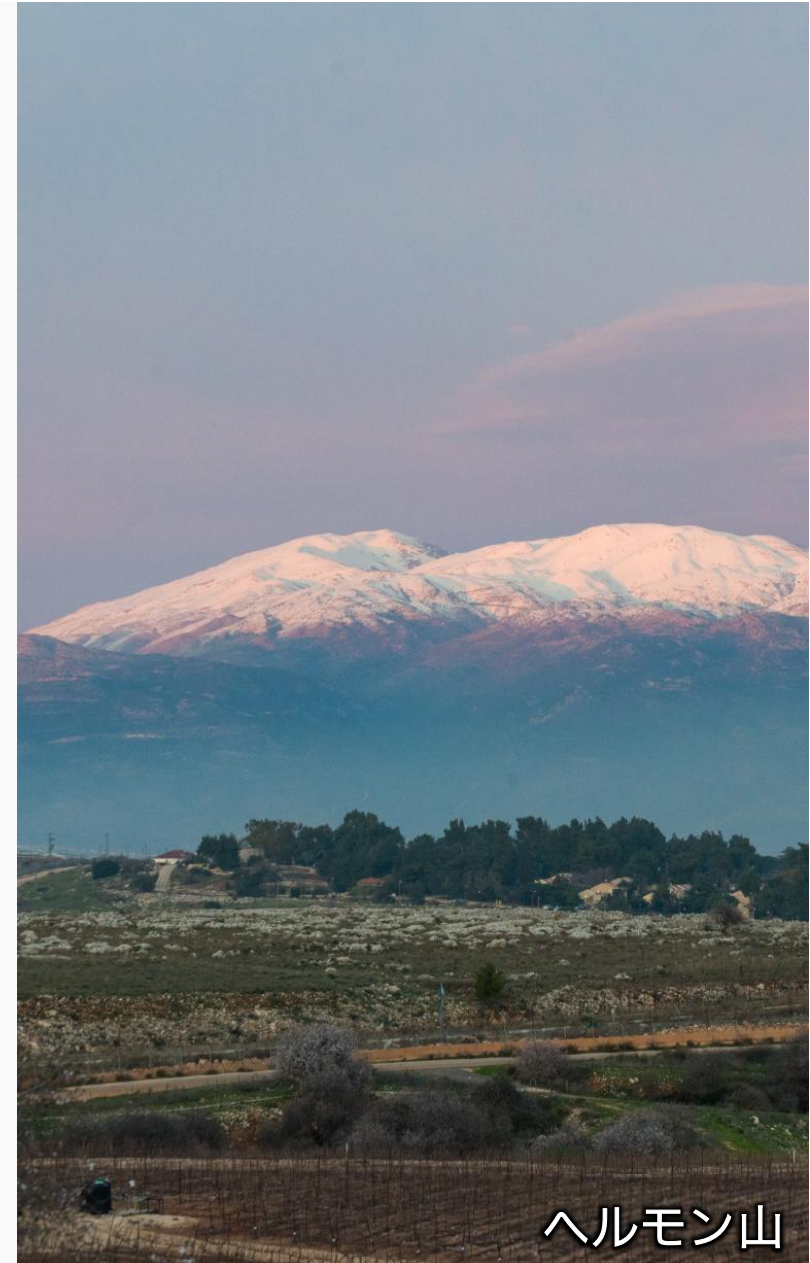
すると、弟子たちはイエスに尋ねた。

「**そうすると***、**まずエリヤが来るはず***だと律法学者たちが言っているのは、どういうことなのですか。」

***イエスがメシアとして来られたとすると、**

***ユダヤ人の伝承 …根拠はマラキ4:5**

「見よ。わたしは、**【主】**の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。」



ヘルモン山

本編

エリヤは来た マタイ17:11～12

イエスは答えられた。

「エリヤが来て、すべてを立て直します。

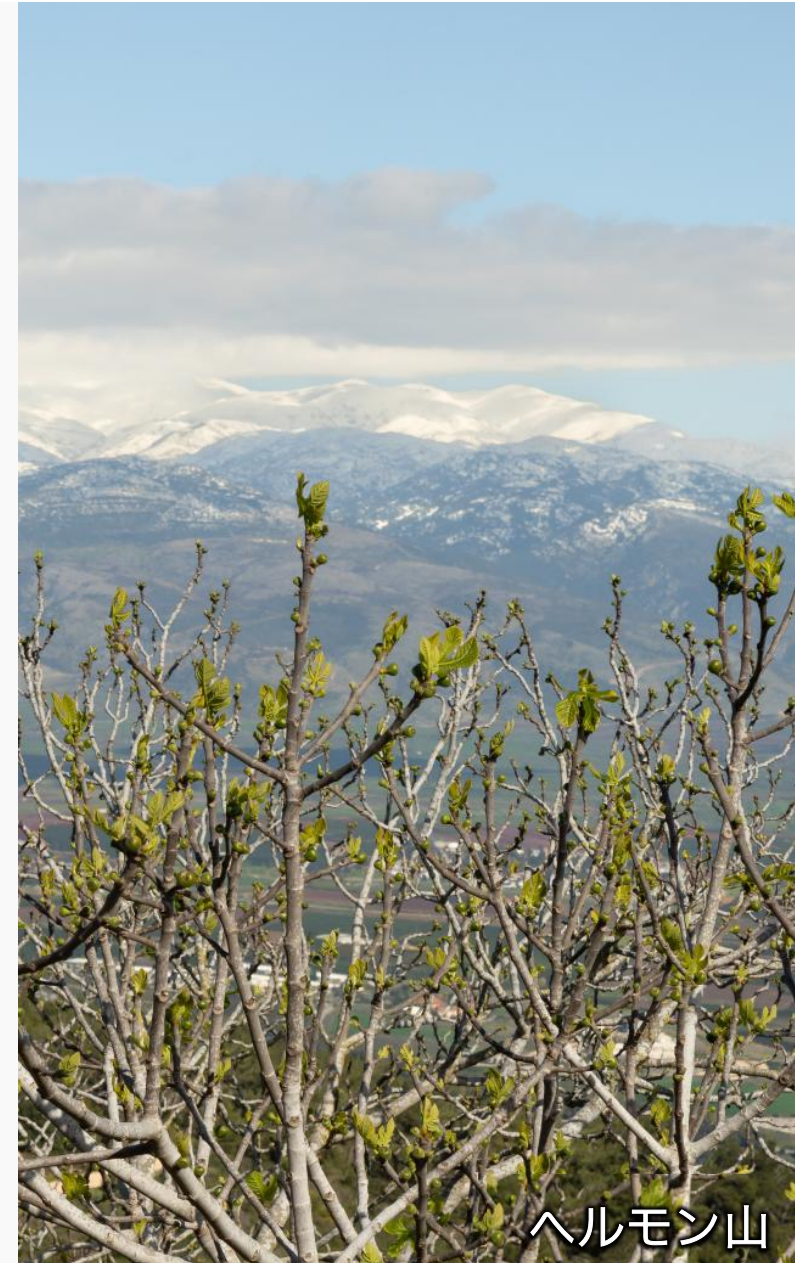
しかし、わたしはあなたがたに言います。

エリヤはすでに来たのです*。ところが人々はエリヤを認めず、彼に対して好き勝手なことをしました。同じように人の子も、人々から苦しみを受けることになります。」

＊アオリスト体で強調

■ エリヤ(先駆者)は来たが、迫害された。

➡ メシアには、さらに厳しい受難が!!



本編 バプテスマのヨハネ マタイ17:13

そのとき弟子たちは、イエスが自分たちに言われたのは、バプテスマのヨハネ*のことだと気づいた。

*死んだヨハネが、エリヤだった。

「マタ11:14 あなたがたに受け入れる思いがあるなら、この人こそ来たるべきエリヤなのです」 ➡この時点では受け入れる道が!!

■エリヤ➡王なるメシアの道は閉ざされた。

エリヤ(ヨハネ)の死 ➡メシアの死



ヘルモン山

メシアの前に来るとされたエリヤ

「マラキ4:5 見よ。わたしは、【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者**エリヤ**をあなたがたに遣わす。

4:6 彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。」

- エリヤの派遣 → 世の終わりの裁き → メシアの到来
- イスラエルは神と和解し、平和がもたらされる。
- 今でもエリヤを待っているユダヤ人(過越の祭り)

エリヤに心が捕らわれる錯誤

- エリヤは、メシアの先駆者であって、メシアではない。
- 栄光を現されたメシアが目の前にいるのに、
エリヤのことに捕らわれている弟子たちのおかしさ。
- 黙示録にエリヤは登場しない。二人の証人は正体不明。
イエスをメシアとして受け入れた人に、エリヤは不要。

私たちが待ち望むべきは、再臨のメシア この方だけ!!



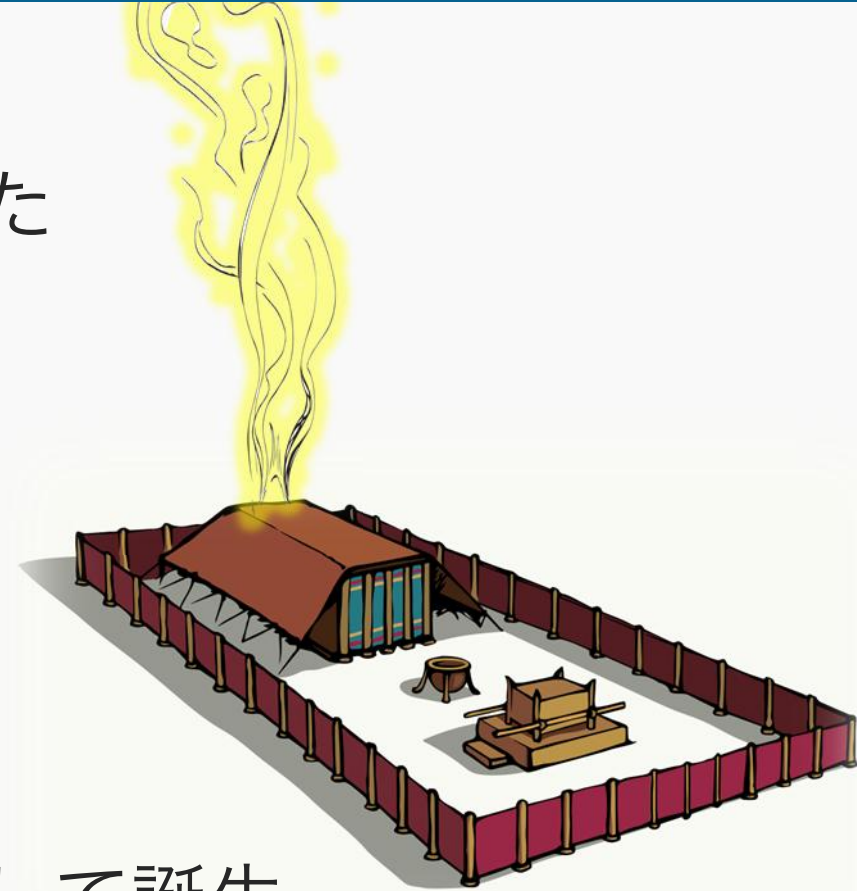
Ⅲ. まとめと適用

主が私に期待されていること

ヘルモシ山とアーモンドの花

神の栄光の歴史

- ①世界の始め、**神の栄光**が人と共に
→罪によって神の栄光は人を離れた
- ②幕屋(後に神殿)に、**神の栄光**が宿る
→イスラエルの罪により、エルサレムを離れた。
- ③メシアは、肉体の内に**神の栄光**を宿して誕生
→地上生涯で、ただ一度、山上で顕現



神の栄光と 二人の神の人

①モーセ ……**神の栄光**に導かれ、イスラエルの指導者に
神の栄光の内に、シナイ山で律法を授与
神の栄光が、民と建設した幕屋に宿った

②エリヤ ……**神の栄光**を、カルメル山でイスラエルに示す
神の栄光に導かれ、預言者学校を組織
神の栄光により、生きたまま天に挙げられた

すべての聖徒を代表する 二人の神の人

①モーセ …死んで、遺体は地上で秘密裏に埋葬。
パラダイスに入った。

➡死んでパラダイスに入った信者の代表

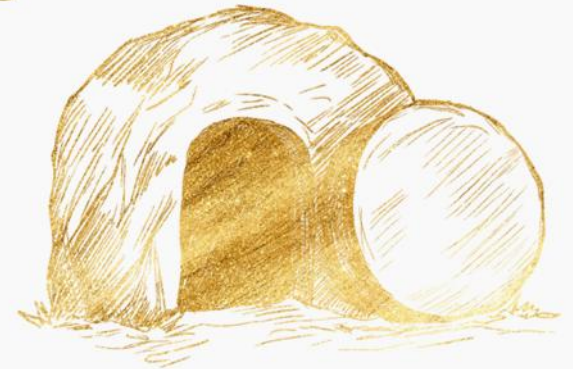
②エリヤ …生きたまま天に挙げられた

➡生きたまま携挙される信者の代表

携挙の瞬間、どちらの立場も栄光の体で主イエスのもとに

イエスと神の栄光

- ❶ 肉体の内に**栄光**を宿して誕生
- ❷ 公生涯の開始。バプテスマに現れた**栄光**
- ❸ 地上生涯で唯一、山上で**栄光**を顕現
- ❹ **栄光**の体で復活、昇天
- ❺ 信者を携挙され、**栄光**の体に変えられる
- ❻ 神の**栄光**を帯びて、地上に再臨。千年王国を建設
- ❼ ご自身の**栄光**が光として全世界を照らす・新天新地



ペテロの誤解 メシアの真実

■幕屋(仮小屋)を三つ建てましょう・提案の理由

➡栄光のメシアを目撃 メシアが王となられる
仮庵の祭りを再現しようと!!

エルサレム入城での棕櫚の葉も、仮庵の祭りの再現

■初臨のメシアは、受難、贖罪のために来られた

➡仮庵の祭り(栄光の再臨)の前に、
過越の祭り(贖罪のための初臨)が来る

過越の祭りとメシア

	祭りの名称	月	日	太陽暦	メシアの生涯
春の祭り メシアの初臨	①過越の祭り	第一の月	14日	3～4月	受 難
	②種なしパンの祭り	第一の月	15～21日	3～4月	贖 罪
	③初穂の祭り	第一の月	除酵祭の 安息日翌日	3～4月	復 活
	④五旬節の祭り (ペンテコステ)	第三の月	初穂祭の 50日後	5～6月	聖霊降臨
夏 期	中間期				世界宣教 (教会時代)
秋の祭り メシアの再臨	⑤ラッパの祭り	第七の月	第一日目 (新月の日)	9～10月	携 挙 (空中再臨)
	⑥贖罪の日 (ヨムキプール)	第七の月	10日	9～10月	大艱難時代
	⑦仮庵の祭り	第七の月	15日	9～10月	千年王国 (再臨)

弟子たちの期待との神の計画

- イエスの変容を目撃した弟子たちは、
いよいよ神の王国が建設されると興奮した!!
➡ この誤解は、この後も十字架の死まで続く…
- 神の計画は、メシアの受難・贖罪の死と復活
➡ イエス直々に何度も話しながらも無理解な弟子たち
弟子たちすらこうだった。反面教師に学ぼう!!

期待や願望が、どれほど私たちの目を曇らせるか!!

私の期待と神の計画

例) 増える一方の教会難民、時代の厳しさはあるけれど…

■勝手に期待して、裏切られたと勝手に失望してないか？

➡神の計画も主イエスの言葉も、変わらない
聖書に堅く立つ説教の価値は、変わらない

■教会に牧師に、期待しては裏切られてきた？*

➡その期待の仕方に問題はないか？
あなた自身が変わるように促されていることは？

★ 主が私に期待されていることは？ ★

- 期待は主に向けるもの。そして、主から受け取るもの。
聖書を正しく学び、御心に適って主に期待しよう。
- 主が、私に期待されていることは何だろうか？
主に用いられる器として、どのように変わる必要が？
- 御言葉と、兄弟姉妹からの促しを受け取り、実行しよう。
決意して踏み出せば、御霊が助けてくださる。

主に期待し、主の期待に応えつつ歩もう!!

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

私たちが主の似姿として成長することを、主が求めておられます。

主が私たちに期待された、働きと使命があります。

私たちは打ち砕かれつつ変えられて、御霊に満たされ遣わされます。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」